

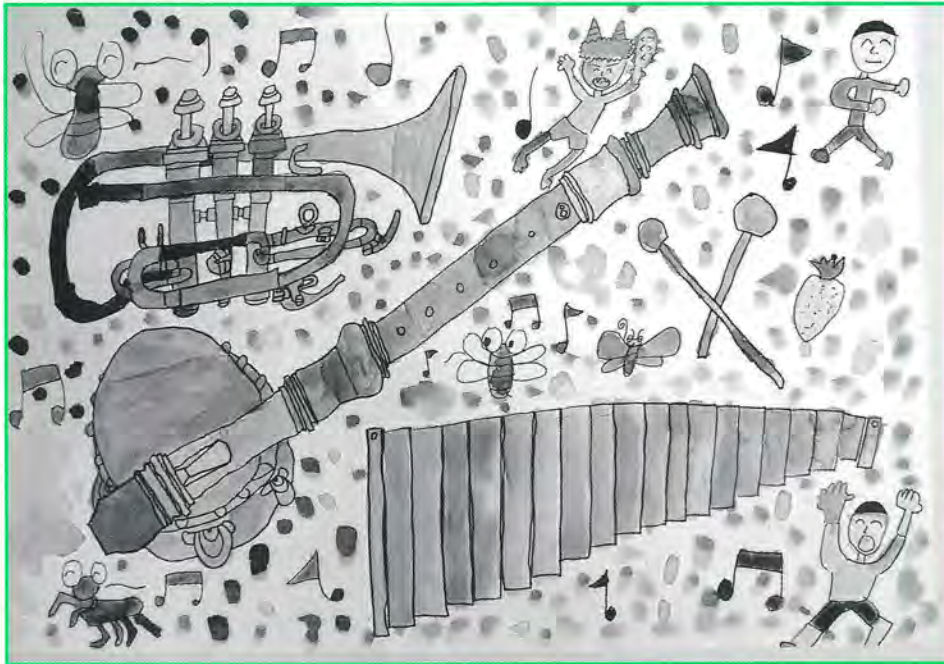


題字 足立区長 近藤 やい

足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 中田 貢弘
編集 広報部会
発行日 2011年3月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5111



「にじ色のメロディ」 中川北小4年 渡部優基 作

目次

各会長紹介	2
退任・新任委員紹介	3
委嘱状伝達式	4
厚生労働大臣表彰受章祝賀会	5
子育て応援団	6
ゲートキーパー研修	7
赤い羽根共同募金	8



年頭に当たって

平成22年度11月の新旧会長協議会において、連合会長にご推挽いただきました。もとより浅学非才で、なおかつ会長の任、長すぎるのではないかと申し上げたのですが、24

名の会長様方の同意を得て、四期目の会長を務めさせていただくことになりました。就任にあたり民生・児童委員全員のご協力、ご支援が不可欠でありますのでよろしくお願い申し上げます。

これまで、就任にあたり指標を出してまいりました。一期目には、「一期一会」、「和」。二期目には、「長幼の序」、「温故知新」。三期目には、「桃李不言下自成蹊」、「ワンフォアオール オールフォアワン」。

それぞれの指標を全委員が理解し、かつ行政当局の温かなご教導によって、「足立区民生・児童委員協議会ここにあり」を、多くの方々にご理解いただくまでになりました。その端的な代表例が昨年7月に勃発した、高齢者所在不明問題です。全国に先駆けても、民

会長 中田 貢弘

生・児童委員協議会と行政との連携は顕著なものがあり、結果として東京都23区26市8島町村を代表して厚生労働大臣優良団体賞をいただくことができました。これも全委員のご尽力のおかげと最大限の敬意を表します。

さて四期目の指標は、「義」といたしました。「儒教」の中で「義」は人として必要な徳目五常（仁、義、礼、智、信）であり、その意味は、「正しいこと」「人が踏み行ふべき正しい道理」とあります。つまり、我々民生・児童委員の魂を言い表していると思います。どのように時代が変化しても、組織の「義」は変わらないはずであり、個々の「義」の結集による組織内の絆が強くなればなるほど、様々な困難にも立ち向かえると確信しています。年度の初めに、今一度それぞれの委員の立場で個々の「義」を再確認していただけたら幸いです。今後とも皆様の温かいご支援を願っております。

各会長紹介

合同会長



協議会会長
第四合同
9 地区
中田貢弘



第一合同
常東地区
柳川峯子



第二合同
東綾瀬地区
吉田幸雄



第三合同
10 地区
中山佳子



第五合同
江南・新田地区
飯塚茂



第六合同
15 地区
山本祥一



会長職務代理
第七合同
東栗原地区
宮崎十三

地区会長

第一合同



3 地区
持齋忠伸



4 地区
大室博



5 地区
平林治

第二合同



18 地区
小久保隆



佐野地区
相澤明義



神明地区
堀井洋二

第三合同



6 地区
佐藤篤子



11 地区
須田陽子

第四合同



7 地区
齋藤武次



8 地区
田中栄一

第五合同



13 地区
鈴木和男



鹿浜地区
野辺陽子

第六合同



14 地区
薊登喜江



洲江地区
武内啓友



竹の塚地区
飯泉節子

第七合同



17 地区
小宮俊一郎



花畑地区
有馬妙子



19 地区
寺山みよ子

研究部会



子育て支援
研究部会
柘孝子



児童福祉
研究部会
高橋八郎



障がい者福祉
研究部会
中村幸雄



生活福祉
研究部会
海老名佳子



高齢者福祉
研究部会
鷲見竹由



主任児童委員
研究部会
小宮謙治



広報部会
宮本勝男

第15回こころの健康フェスティバル

平成23年3月5日(土) 足立区役所(庁舎ホール・1階アトリウム・正面広場) 入場無料

シンポジウム 「精神保健福祉の15年の歩みと明日」

学ぶ 家族会相談 就労相談 こころのしゃべり場

見る オープニングセレモニー 第十一中学校吹奏楽部

参加する バザー、自主製品販売 等

舞台発表 演劇、ダンス、音楽療法、パネル展示

こころの病を持つ方々が共に生きる社会を実現するために、力を合わせてお互いに助け合いながら活動を続けています。また、足立区民生・児童委員協議会も後援しており、今年も人気のバザーを出店します。

お疲れ様でした 退任の皆様

第一合同

藤本 享子
幸田 吉水
梅本 幾子
片山 勇
小菅 實
江原正太郎
横田 忠克
長谷 正治
篠田 節子
安藤 順子
第二合同
大木ヨシイ
成川 芳信
猪俣 勝美
坂野 正章
宇田川ひとみ

内田 豊
青山ミナ子
渡邊 正勝
野村カツ子
佐藤 孝子
小林 洋子
金杉 順子
河野 正子
岩井登茂子
安井 隆子
藤井 操
大庭 兵次
山崎 秀夫
第三合同
高橋 和江
野寺 保治
板垣 壽春

鈴木恵美子
大塚 善博
浅井ちよ子
加藤 秀子
近藤 みつ
松井志津子
中島 千代
吉田 昭一
高須と志江
山本 裕子
北角 紀子
宮田壽美子
遠山 みな
第四合同
塩野 克徳
瀬田敬一郎
古姓 長孝

海老原多美子
加藤喜代子
山口 久子
佐藤 好子
影山 房子
有山きよ江
田高 貞代
阿出川信夫
横井 富子
榎本 紋子
八木沢八重子
吉田 修一
熊倉 正夫
村山 道隆
宝谷 壽子
吉田 忠司

第五合同

宇田川美恵子
小宮 章好
久保田正志
山谷 久生
吉田 良子
秋山 道子
清水 幸藏
岸 一夫
本山 敬子
大谷 富夫
矢萩 隆一
浅香 浩次
松本 百生
中嶋富美枝
第六合同
森脇久仁子

川島 和子
山田 きの
横田 満子
星野 雅司
磯貝 芳治
須賀 善一
西本 昭志
嶋村美知子
川津 マサ
川原 靖子
菊田 禮子
浅井 米子
市川 綾子
梅澤 紀子
石鍋きぬ子
石井 彰
古沼 宏子

森原 貞俊
第七合同
小玉千恵子
清水 一弥
松木 壽子
大木 健
穂積 一良
平田 幹明
高橋 弘一
豊田 桂子
花井ふみ子
柳館 恵
渡邊千江子
西森 永子
細井 力造
太田富美子
石井 桂子

大澤 稔
鳥海 和人
牛久保満子
北村 孝子
鶴飼 政次
柘植 敏子

(敬称略)

新任民生・児童委員 紹介

第一合同

高橋 睦子
鈴木 昭
大熊 純子
平瀬 美保
古屋 恵子
秋葉 千秋
吉田 祐一
田中真季子
江川 明美
谷茂岡 昭
松浦 恵子
第二合同
鶴田 晴久
下島 利代
坂井 孝治
中村 範男
高木しのぶ

鈴木 敏江
木内 信雄
吉村 清江
藤田 妙子
毛利 留一
小柳 早苗
山本 滝子
出口 愛子
金子 正邦
齊藤久仁子
白倉美恵子
小沼 剛夫
山崎 秀夫
第三合同
坂下 政子
京谷 信子
堀越 英行
新井 清子

奥泉 優子
山口 弥生
小宮 昇治
遊馬 正子
藤沼 次男
野本由紀子
櫻井 春子
佐久間幸恵
伊藤 直
和田 静江
傳田 信子
太齋 利幸
第四合同
志賀口博人
保坂まさい
佐藤実千代
小宮久美子
高橋 隆夫

稲塚由美子
下開 慶一
持木 吉子
小貝 智章
三橋 榮子
小泉 朋子
高田 正明
西村 良夫
中村 信子
清水 政代
足立由美子
式見 恵子
松本 知子
梅原佐知子
増山 元美
第五合同
宇田川 毅
福原 稔

山本 住子
石崎 裕一
宇田川伸孝
高橋さだ子
宇田川尚子
稲田 益巳
篠山しげ子
鈴木 健治
佐藤 洋子
大内美智代
齊藤千恵子
久保 幸子
第六合同
横田 静江
横矢 秋代
高橋 良子
杉本 恵子
瀬山 春美

角田 正美
小林美代子
嶋村 定信
星野 公子
小木曾ひろみ
三浦 仁子
金宮 和代
谷古宇マサ子
田中美代子
石鍋 勝政
中里奈奈世
町井 良文
第七合同
金子みどり
岩戸 順子
貝間 正敏
松本 睦子
石井 達雄

益塚 賢治
西野いちょ
齋藤 敏彦
寺山 早苗
首藤 広行
鈴木 恒雄
大場 実
近 ミサ子
田浦貴美子
河内富士子
福寫 純一
栗原 廣子
高橋 和枝
高橋 絹江
竹内 祝子
岡村 徳重

(敬称略)

足立区民生・児童委員協議会会長 (連合会長)



足立区民生・児童委員協議会 委嘱状伝達式 12/14

平成22年12月14日、民生・児童委員の委嘱状伝達式が西新井文化ホールで行われました。

厚生労働大臣から委嘱を受けた再任・新任計543名の名前が読み上げられると、近藤区長はその都度、お辞儀をしてくださいました。特に、新任委員の117名の方々には、地域のため、足立区発展のため引き受けてくださったことを感謝されました。また、新任委員の推薦に尽力された推薦会・推薦準備会委員の労もねぎらわれました。厚生労働大臣の委嘱状からは、民生委員活動の充実に対し、感謝の言葉をいただきました。

平成22年は記録的猛暑の中、高齢者所在不明問題

等が山積みでした。平成23年は足立区の地域力元年として、地域の声を伺いながら絆を深めていきたいとの区長の挨拶に、私たちも気持ちを新たにしました。

(広報/江南・新田地区 松島勝己 記)



第64回 東京都民生委員・児童委員大会 文京シビックホール

11月18日、文京区シビックホールにて、東京都民生委員・児童委員大会が、盛大に開催されました。吉川和夫東京都副知事の挨拶で、委員の訪問回数は延べ160万回というものでありました。子どもの虐待・高齢者不明等の問題が相次いでいる中で、人と人との絆の大切さを訴えていました。また、4つの「ゆ」という言葉として、「勇氣」「ユーモア」「ゆとり」「夢」を紹介していただき、私もこれから生きていく道標にしたいと思いまし



た。そして、日頃の民生委員活動に対して833名の方が表彰されました。

た。そして、日頃の民生委員活動に対して833名の方が表彰されました。

第二部の練馬区の民生委員・児童委員のコーラスも素晴らしかったです。昔なつかしい童謡の数々、すがすがしい気持ちで聞かせていただきました。また、記念講演として「児童虐待の現状」と題した、丸山浩一東京都児童相談センター所長の講演がありました。新聞紙上をにぎわしている虐待の現状についての話がありました。痛ましい限りです。最後に感謝状贈呈として、渋谷区1名、足立区1名、足立区では安藤順子前第一合同会長へ感謝状が贈呈されました。

(前広報/鹿浜地区 江川せつ子 記)

民生・児童委員各種表彰受賞者 (敬称略)

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

永年勤続民生委員・児童委員表彰

常東地区 藤本 享子	佐野地区 清水 千鶴	6地区 佐藤 篤子	北角 紀子	吉田 忠司	洲江地区 須賀 善一	竹の塚地区 川原 靖子	19地区 牛久保満子
3地区 宮田 房子	内田 豊	10地区 浅井ちよ子	8地区 横井 富子	江南・新田地区 飯塚 茂	奥倉 勝己	石井 彰	北村 孝子
4地区 安藤 順子	石井 幸	11地区 山本 裕子	榎本 紋子	15地区 星野 雅司	西本 昭志	東栗原地区 平田 幹明	柘植 敏子
	神明地区 小池 浩子		9地区 宝谷 壽子		浅古紀久子	豊田 桂子	

全国社会福祉協議会会長表彰

竹の塚地区 浅井 米子

東京都社会福祉大会会長表彰

10地区 渡邊 進

東京都民生児童委員大会表彰

常東地区 藤本 享子	18地区 安岡 忠雄	小池 浩子	浅井ちよ子	8地区 横井 富子	江南・新田地区 大庫 悦子	洲江地区 須賀 善一	高橋登志子
柳川 峯子	猪俣 勝美	東綾瀬地区 清水あけみ	中山 佳子	榎本 紋子	13地区 浅賀 和子	奥倉 勝己	山下 節子
筑波美奈子	佐野地区 清水 千鶴	清野 榮治	石山 和子	島田 晴子	八木富美子	武内 啓友	東栗原地区 平田 幹明
3地区 宮田 房子	内田 豊	6地区 佐藤 篤子	11地区 山本 裕子	9地区 西村真知子	14地区 山田 きの	浅古紀久子	池嶋 清郎
4地区 横田 忠克	野村カツ子	板垣 壽春	山本 裕子	宝谷 壽子	15地区 横田 満子	鈴木 岑子	豊田 桂子
安藤 順子	石井 幸	10地区 松村 文子	北角 紀子	吉田 忠司	星野 雅司	竹の塚地区 川原 靖子	19地区 鳥海 和人
	神明地区 鈴木 美歌	江川 善弘	7地区 海老原多美子	中田 康博		石井 彰	柘植 敏子

合同会長の皆様 お世話になりました

前 第一合同 安藤順子会長



今回、一斉改選に向けて行事をこなす中で、あまりにも一日一日が早いのに驚かされました。その大切な日々の中で、18年の間には楽しい出会いもあれば、民生・児童委員として重い責任を負うこともありました。

特に昨今、人と人とのつながりが希薄になってしまった現状を心配しています。常に相手の気持ちに向き合い、自分に置き換えて考えることが大切です。民生・児童委員は自分を磨く最高の場です。よき友をたくさん作ってください。

前 第三合同 宮田壽美子会長



私は昭和55年12月1日に民生・児童委員に委嘱されました。振り返ってみれば長いようで短い30年でした。皆様のご協力と家族の支えもあって、平成19年に第三合同会長という大役をお引き受けすることになりました。今日までこうして大過なくまっとうできたことは皆様のおかげであると感謝しております。

これから社会環境も変化していく中、皆様のご活躍を心から祈念してお礼の言葉に替えさせていただきます。どうもありがとうございました。

前 第六合同 浅井米子会長



長い人生の中、四半世紀以上にわたり民生・児童委員として活動してまいりました。地域はもとより足立区や東京都、東京都民生児童委員連合会と連携して、人と関わる中で人間形成を培うことができ、素晴らしい財産を得ることができました。

そして、退任が間近となったころ、連合会長代理として全国民生児童委員協議会島根県大会に参加することができまし

た。全国23万人の一人として、地域で活躍している民生委員・児童委員と触れ合う機会を与えていただき、この上ない喜びを胸に思い出の1ページにとどめ、いまま少し地域でお手伝いしたいと思います。

終わりに、この3年の間、合同会長の大役を皆様のご支援と行政のご尽力のおかげで果たすことができました。

どうぞ今後も地域福祉推進活動の益々のご発展を祈念し、お礼の言葉と致します。



辰沼小5年 堤 彩伽 作

厚生労働大臣表彰受章祝賀会

足立区民生児童委員協議会
厚生労働大臣表彰受章祝賀会



11月15日、北千住シアター1010で「社会福祉功労者厚生労働大臣表彰」受章の祝賀会が開催されました。冷たい雨が降る中、多数の方にご参加いただきました。この栄誉ある賞は全国社会福祉大会において、東京では23区26市8島町村を代表しての受章です。

式典は日比谷公会堂で行われ、足立区より279名が出席しました。足立区が受章の対象に選ばれた理由の一つは、民生委員の地道な活動と長年に渡る注意深い経過観察が実を結び、全国的に高齢者の所在不明問題に発展する大きな一歩を踏み出したことが評価につながったと思います。その顕れとして第64回東京都民生委員・児童委員大会にて安藤順子前第一合同会長に

感謝状が授与されました。

祝賀会は、区歌の斉唱で始まり、開会の辞では、100年に1回ももらえないような素晴らしい表彰であると絶賛の挨拶でした。中田民生・児童委員協議会会長は「足元の悪い中、ご来席に感謝するとともに今後も足立区民生・児童委員協議会の発展に尽力します。」と、熱く語られました。来賓の近藤区長には「この受章は足立区の誇り」とのご挨拶をいただきました。

他、紙面の都合でお名前のみとさせていただきますが、区議会から古性議長、東京都民生児童委員連合会から川尻会長、福田副会長、大谷副会長、小菅副会長、山田副会長、その他にも足立区福祉部関係者が多数ご来席でした。

この受章を機会に各々の民生委員がなお一層の福祉の向上に心血を注ぎ、100年に2回目の受章が叶えられるよう努力したいものです。

(前広報/8地区 田中榮一 記)

子育て応援団——始めませんか 弁当の日

7月9日午後7時より、第一中学校において竹下和男先生の家庭教育講演会が行われました。

先生は、香川県の公立小・中学校の校長先生を歴任され、子どもが「自分でつくる弁当の日」を提唱されました。ルールは一つ「親が決して手伝わない」これだけで子どもは、親への感謝が芽生え、食べ物の「命」を感じ、人に喜ばれることを快く思うようになり、感謝の気持ちで物事を受けとめられるようになります。竹下先生はこのことを、体験を基に語られました。

第一中学校は、昨年度より全校一斉の「自分でつくる弁当の日」を実践しています。当日の講演は、5歳の「はなちゃん」の母親が余命5ヶ月と宣告されてから、自分がいなくても「はなちゃん」が生きていけるようにと、掃除、洗濯そして炊事を教え込む話から始まり、参観者の涙を誘いまし



た。その後、「自分でつくる弁当の日」を始める苦労話、実践する中で子どもたちの輝く笑顔などを、多くのスライドを交えて講演されました。

「愛された子どもは、素敵な大人になる」

「自分がしてもらいたかったことをしてあげられる親であれ」

「子どもは一度褒められると、もう一回褒めてほしいくなる」

といった珠玉の言葉が散りばめられた感動の講演会でした。

「弁当の日」に託した六つの夢

- 1 「一家団欒の食事」が当たり前になる夢
- 2 食べ物の「命」をイメージできるようになる夢
- 3 子どもたちの感性が磨かれる夢
- 4 人に喜ばれることを快く思うようになる夢
- 5 感謝の気持ちで物事を受けとめられるようになる夢
- 6 世界をたしかな目で見つめられるようになる夢

前 足立区立第一中学校副校長

現 江東区立第三砂町中学校校長 古山真樹 記

芝の上の映画館 梅島第一小学校 開かれた学校づくり協議会

梅島第一小学校開かれた学校づくり協議会では、ここ数年夏休み後半、芝の上の映画会を開催しています。校庭が芝で覆われているので、夏の日夕べに親子で芝に親しむ機会になればと計画しています。

PTAの皆さんや、校長先生をはじめ諸先生方、そして地域の方々と力を合わせて準備を進めてきました。ジュースやパンなどの飲食物に加え、映画以外にも楽しめるようゲームコーナーも設置し、今年はお天気にも恵まれました。

ディズニーの「ラマになった王様」を上映したところ、思わず見入ってしまう大人もいました。子どもの方は、映画をじっと見ている子、久しぶりの友だちとの再会を喜び遊んでいる子。楽しみ方はそれぞれです

が、参加している親も子も一緒に笑顔で過ごしている姿は印象的でした。

子は国の宝、と言いますが、私達に何ができるか、何をすべきかを考え、

子ども達を見守っていきたいと思います。

11地区 開かれた学校づくり協議会会長

11地区民生・児童委員 隈元千代子 記



中川小5年 成田莉南 作

さくらニュース 第11回 足立凧まつり



今年の荒天による中止がウソのような雲ひとつ無い穏やかな一日でした。10時過ぎから風がちょっと出ましたが、凧にとっては待っていましたと言いたくなる

今年で11回となる「足立凧まつり」は10月2日(土)荒川河川敷、虹の広場にて開催されました。今までになくすばらしい天気にも恵まれ、

頼もしい風でした。

10時に始まった大会は順調に進行。11時の審査の後、各賞が決定し、12時の表彰式を迎えました。その他にも、大風の披露や千住消防署のはしご車や千住警察署の白バイ乗車体験、小学校PTA連合会による模擬店など、この大会はたくさんの方々のご厚意で成り立っています。民生・児童委員協議会の方々にも、ご協力をいただき心より感謝いたします。

来年もこの時期に開催を予定しています。皆様のご協力をよろしく願いたします

(凧まつり実行委員会 記)

ゲートキーパー研修を受講して

足立区では、平成20年10月から足立区自殺総合対策として「こころといのちの相談支援事業」をスタートしています。その一つとして、10月13日にゲートキーパー研修が開催されました。人口動態統計によると、平成10年には、全国の自殺者が年間3万人を超え、その後も高い水準が続いています。平成21年の足立区の自殺者は168人となっています。



中川東小4年 鈴木保亮 作

NPO 法人自殺対策支援センター

ライフリンク代表 清水氏は、自殺の誘因として、失業・負債・過労・病気などをあげています。しかし、個人的理由だけでなく、社会の構造的問題もあり、弁護士・保健師・精神科医など関係機関の連携、ネットワークの構築によって、相談に応じるべきとのことでした。足立区としては、提唱する「生きる支援」のため、ゲートキーパーを地域全体に増やし、自殺にいたる前のSOS、自殺の予兆に気づき、人とのつながりを持つことで、いのちが守られます。「いざという時に、相談できる人がいる」ということを、区民に周知することで、地域にセーフティネットを張り、安心安全の社会に変化させたいとのことでした。

私は、民生・児童委員活動の「足立区あんしんネットワーク」と、根本はまさしく同じであると思いました。
(広報/6地区 森春枝 記)

狂言で笑おう

「最近、ストレスをためていませんか？ お腹の底から笑っていますか？」

「思い切り声を出す、笑う、そんな体験をしてみませんか？」

「普段の生活では体験することのない楽しい時間をすごしませんか？ 一緒に楽しく声を出しましょう！」

そんな呼び掛けで、地域包括支援センター千住ブロックの合同介護者教室の狂言の会が、7月20日生涯学習センター学びピアで開催されました。出演は足立区で幅広く活動されている山下光治・山下芳子さんの劇団アクトヤマナル、狂言いろは会の方々です。小学生から60歳代まで幅広い演者の、ピンと張った狂言独特の発声を耳にただけで汗が引いていくようでした。狂言とは喜劇であるとのこと。山下さんお二人の、主人と太郎冠者の衣装も楽しく、掛け合いの中に

用語の説明もあり、稽古の様子など面白く話されました。満席の会場のあちこちでくすくす笑ったり、爆笑したり、異質の世界にピン



辰沼小5年 柿添正樹 作

と張った空気が流れて暑さも忘れる一時でした。出演者全員の袴姿も凛々しく、最後に会場全員が主人や太郎冠者になって、大きな声で笑って謡曲の「盃（さかずき）」の一節を謡ってすっきりとした気分で散会となりました。

(前広報/4地区 大久保義子 記)



綾瀬小5年 齋賀卯佳 作

湘江中学校

山梨県笛吹市 市長賞

しんしんと降りつむ雪に耳すます
三年 吉原 幸乃

銀杏の白いに気付く帰り道
三年 木村 将太

オウガ燃え空も燃えだす赤い秋
三年 小山 果菜

風鈴をならした風が心地良い
二年 脇 嗣美

転ぶたび絆確認心登り
二年 林 ももこ

心登り氷砂糖で生き返る
二年 木村 優

賑やがが哀しくもあり蝉時雨
三年 石井美咲季

中学生俳句コーナー

10/1 赤い羽根共同募金 結果報告 “赤い羽根募金って なあに”

かつて、陸の孤島といわれた足立区舎人地区に、2008年3月30日、日暮里・舎人ライナーが開通しました。翌2009年より、赤い羽根募金を、見沼代親水公園駅で実施しています。埼玉との県境のため、バスで乗り継いで来る通勤客が大勢います。

10月1日は都民の日、学校休みの小学5、6年生が集まってきました。「赤い羽根ってなあに?」「僕達の気持10円入れるよ、おつり5円くれる?」ときくので、「募金箱からは出ないよ。君達の募金が、みんなの町を住み良くするために使われるんだよ。ありがとう。」と伝えました。(前14地区 森脇久仁子 記)

募金総額 22年度 1,305,879円



快挙! 第23回全日本マーチングコンテスト金賞 足立区立第十一中・第十四中W受賞

▼十一中の皆さん



十一中吹奏楽部は、東京都マーチングコンテストで金賞を受賞。11月21日に大阪城ホールにて開催された「第23回 全日本マーチングコンテスト」に東京都代表として十四中と共に出場しました。結果は見事、両校「金賞」という快挙を達成。念願の夢が叶いました。

また、地域の小学校とのジョイントコンサートでは、小学生のよいお手本となっています。

- ・東京都マーチングコンテスト「金賞」 全国大会出場
- ・東京都吹奏楽コンクール「金賞」
- ・東京都マーチングバンドトワリングコンクール「優秀賞」

(広報/19地区 栗原和子 記)

現在100名を越す生徒を指導している、十四中吹奏楽部顧問の玉井先生にお話を伺いました。

練習は毎日3~4時間、休日は12時間以上です。6年の間考え方の幼稚な子、自己主張が強く協調性に乏しい子等、その指導は大変だったそうです。

その中で、3年連続の全国大会金賞を成し遂げている先生の指導力には脱帽です。

玉井先生は、「十一中の演奏技術とマーチング・フォーメーションは日本一です。」と賞賛されていました。

また、十一中顧問、豊田先生は十四中の卒業生でもあるそうです。

両校、切磋琢磨しながら、良い結果が今後も続くよう祈っています。

(広報/15地区 北川富美子 記)

▼十四中の皆さん



編集後記

民生委員改選に伴い、広報部会の部員も、半数近くが交替となりました。

今後は、この新しく若いエネルギーを結束して、広報紙「さくら」を編集していきたいと思ひます。

いつも「さくら」を読んでくださる皆様、本当に

ありがとうございます。皆様の思いを感じながら、これからも作成してゆく所存です。

(広報/6地区 森春枝 記)

小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、第一合同から第七合同の小・中学校へ順番にお願いしております。また、皆様からの原稿も募集いたしております(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 7月1日
なお、原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談下さい。

広報部会

部会長 宮本勝男	副部会長 川島恵美子	書記 渡邊照美	会計 池田信江	編集 森春枝	校正 秋本雅信	レイアウト 数下奈穂美	編集委員 北村信也	鶴田晴久	木内信雄	加藤宏一	松島勝己	阿部美代子	千葉祐子	金子みどり	校正委員 江川明美	粟野昌子	河邊セツ	井上みよ子	梶宏次	鈴木静江	関根恵子	北川富美子	小島千恵子	栗原和子
-------------	---------------	------------	------------	-----------	------------	----------------	--------------	------	------	------	------	-------	------	-------	--------------	------	------	-------	-----	------	------	-------	-------	------